**キャッシュレス化を考える**

**和歌山支部：海南市立日方小学校**

**職名　大江 ひかる**

**【背景と目標】**

キャッシュレス化がすすむ昨今、学級費や育友会費などいまだ現金集金を行っていました。しかし、子どもが集金袋を提出するのを忘れたり、大金を子どもに持たせるのが不安だという声もあり、集金袋を使用しての現金集金ではないほかの方法がないか模索していました。そんなとき、教育委員会が給食費を取り扱うことになり、その集金方法が口座振込だったので、同じように学級費も口座振込にしてみようと考えました。

**【協働・取組】**

　手数料が一番安価だったのはゆうちょ銀行だったので、保護者にゆうちょ銀行に口座を開設してもらいました。職員会議にて引落しを年5回（5月、7月、10月、12月、3月）と決定し、引落し日や手数料10円は保護者になることを入学説明会等で資料を配布しました。担任には引落日の一覧表を配付し、期日までに金額を確定してもらうようにしました。

****

****

**【成果と課題】**

　スポーツ振興センターや育友会費も引落しにしたため、現金を扱う機会が減りました。また翌日の朝には、振込不能の家庭が判明するので明確化しました。

　しかし、課題はまだまだ残っています。学級費の保管や業者への支払いはいまだに現金です。振込日の３営業日前までに入力しなければならず、担任に学級費の金額を決定してもらう日程がタイトになってしまいます。また、振込不能になった家庭は現金集金なので、完全に子どもの手から現金が離れたわけではありません。

**【教訓】**

　キャッシュレスが必ずしもいいとは限りませんがある程度はキャッシュレス化を進めた方が利便性がありました。今後の取り組みとして、学級ごとに口座を開設していこうと動いています。また、支払も振込に切り替えていくことを校長と相談中です。

QRコード決済（エンペイ）を利用できたら便利だと考えています。